
合わせ月の夜 副読本（第一部用 イラスト付）

天ヶ瀬夏海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

合わせ月の夜 副読本（第一部用 イラスト付）

【Nコード】

N1139BA

【作者名】

天ヶ瀬夏海

【あらすじ】

「合わせ付きの夜」（Nコード：N27570）は登場人物や世界観構築のために独自の用語を数多く使用しています。

読者の方からの要望が多く、かねてより人名一覧のようなものを作成したいと考えておりました。

こちらはイラスト付きのヴァージョンです。

多くのイラストレーター様からイメージイラストやクレストをいただいていますので、一貫したイメージではありませんが、お楽し

みただければ幸いです。

イメージをイラストで固定されたくない方はテキスト版をご利用ください。

抜けや間違いなどがありましたら厳しくご指摘ください。

人物 ア行

ア行

アイク・ヘロン（デュナン）

ドライアド王国 伯爵

五大老の一人

五大老の代表格であり、エラン五世を傀儡としてファランドール統一の野望を持つ。

十年戦争はアイクの世界戦略の一つとされている。
虎視眈々とシルフィード征服の機会をうかがっている。

アキラ・アモウル・エウテルペ（デュナン）

金褐色の髪

瞳 空色

ドライアド王国 陸軍大佐

特殊部隊スプリガンの司令

二つ名：白鳥の君（後世の呼称）

アキラ・エウテルペが公式な名前である。

ケイジユ・エウテルペ子爵の第一子であるが、母マリイは第四婦人であるため、子爵家の嫡子にはなれない。

クレスト：「熊」（エウテルペ子爵家）

> i 3 8 1 8 5 — 1 8 3 1 <

アトラック・スリーズ（デュアル）

後にアトラック・ジャミール

金髪

茶色の瞳

愛称：アトル

二つ名：歩く図書館（自称）

風のフェアリー

元シルフィード王国海軍 特佐

元ルキリア

> i 3 8 1 8 6 — 1 8 3 1 <

アトル

アトラックの愛称

アナハイム（デュナン）

髪 栗色

愛称：アニー

カレンの親友

ランダールのサクランボ農家の娘

アニーモ・フェルシス（デュアル）

「月の大戦」以降の人物。

近世の女流人気画家。

歴史的人物を独特の情景で描く事で有名。

代表作は「金のオーヴのダーク・アルヴ」という、ミリアの絵を
解釈し直したもの。

アプリリアージェを描いたとされる。

アプサラス三世（アルヴィン）

カラティア朝 シルフィード王国 国王

即位前の名前は カイル

エルネステイーネの父親である。
クレスト 桜花

アプリリアージェ・ユグセル（ダーク・アルヴ）

黒髪

濃緑の眼

左耳に親指大の金色のスフィアの耳飾り

愛称：リリア、アージェ（幼少時）

二つ名：白面の悪魔（主に敵が使う）

二つ名：笑う死に神（主に自軍の人間が使う）

二つ名：雷帝（希に使われる）

敬称：戦略のユグセル（後世の文献などで使われる）

風のフェアリー

ファルンガ領主

ユグセル公爵

元シルフィード王国海軍中将

元ルキリア司令

クレスト：「トネリコの大樹と双美人」

すましている顔が微笑しているように見え、背中に大きな鎌を構

えた死に神の入れ墨がある事から「笑う死に神」の名がついた。

短弓を得意とする

意外に辛い物好き

紅茶派

> i 3 8 1 8 7 — 1 8 3 1 <

天色の楔 あまいろのくさび

マーリン正教会 大賢者

深紅の綺羅の守護一族

人の筆頭と言われる タタンの王

アルフォンス・エンドア（アルヴ）
「月の大戦」以前、シルフィード王国 王立図書館の館長であったとされる人物。

アプリリアージェと親交があったと言われている。
一説に、ハロウィン・リユーヴァークの別名とも。

アージエ

アプリリアージェの愛称

イオス・オシュティーフエ（アルヴィン）

薄い金髪 緑眼

正教会 三聖の一人

賢者名 蒼穹の台

ネジキキウのうってな

ルーナー（コンサーラ）

グラムコール：

儀仗：（材質は青白い石）

ラウの二番目の師であり、義父でもある。

言葉の真贋を見抜く力を持つとされる。

クレスト：「儀仗と剣」

> i 3 8 1 8 8 — 1 8 3 1 <

イブロド・ジャミール（ダーク・アルヴ）

髪 茶色

瞳 緑

ルーナー（コンサーラ）

グラムコール：ジャミール

ラシフの娘

メリドの妻

ルーチエの母
四人組の筆頭

今は二藍の旋律
ファーンが使った賢者名
もちろん二藍の旋律のこと

イルジー・クラルヴァイン（アルヴィン）
故人

モーリッツの妻
テンリーゼンの母

イワン（デュナン）

金髪
ランダールの住民

自警団の一員で、蒸気亭の常連客の一人
大男

イス・イスメネ・バックハウス（アルヴィン）

金髪
緑眼

イスメネ・イス・バックハウスという説もある。
幼少時はイスメネ・バックハウスと呼ばれており、イスは附名
という説がある。

カラティア家の傍系バックハウス侯爵家の最後の一人
エルネステイーネの「変わり身」

もともとエルネステイーネとური二つであったが、サミュエル・
ミドオーバの呪法で二人はよりそっくりとなった。

同じ部屋で生活し、互いに互いの仕草や口癖を真似るようにして、
二人は同じ人間のようにふるまえるようになっていた。

日替わりでエルネスティーネを名乗り、王宮に出、寝室に戻ると情報を共有するという毎日を過ごす。

エルネスティーネが王宮を出てからは、イースがエルネスティーネとして公務に当たる。

ヴィー

カレナドリイの幼少時の愛称

エイル・エイミー（ピクシィ）

瞳髪黒色

ファランドール・フォウからファランドールに迷い込んだ異世界人フォウでは競技剣士だった。

ただし、異能の剣を振るう

自分に対して殺気や敵意を持つ相手の動きを予測する能力を持っている

> i 3 8 1 8 9 — 1 8 3 1 <

エリー

エルネスティーネの宮廷時代の愛称

エラン五世（デュナン）

ファルナ朝ドライアド王国 国王

即位前の名前はフェリックス

エスカやアキラとはアカデミーの同級生で、エラン五世は彼らを友人と慕っている。

気が弱く心優しい性格が災いし、ほぼ五大老の傀儡である。

クレスト 大鷲

エルネスティーネ・カラティア（アルヴィン）

金髪緑眼

愛称：ネステイ

愛称：エリー（王女時代）

二つ名：シルフィードの宝石

風のエレメンタル

カラティア朝シルフィード王国 第一王女

クレスト：「桜花」

エルネステイーネとは、豊穡の祭を司る精霊の名前

> i38190 — 1831 <

エルデ・ヴァイス（ピクシィ）

瞳髪黒色

正教会 賢者

ルーナー（ハイレーン）

グラムコール：我流^{ペダン}

儀仗 ノルン（指輪ノウルドノベルザンディノスクルドに変化）

クレスト：「儀仗と剣」

> i38191 — 1831 <

オスカ（アルヴィン）

カラティア家初代国王の姉の名とされる。

詳細は不明だが、バックハウス家の始祖と言われている。

人物 力行

力行

カイル・カラティア

カラティア朝シルフィード王国 国王アプサラス三世の即位前の名前

カテナ・ミドオーバ（デュナン）

シルフィード王国 王国軍陸軍中佐

サミュエルの息子

ガネード・ケニツク（デュナン）

ドライアド王国陸軍 曹長

スプリガン所属

ノガル直属の部下

カノナール・ノイエ（デュナン）

愛称：カノン

カレンの実弟

カノナールは、古代ディーネ語で「蓮」の意味

カレナドリイ・ノイエ（デュナン）

黄髪

碧眼

愛称：カレン

幼少時の愛称：ヴィー

長い黄色の紙を三つ編みにした、美しい少女。ランダール一番の美人だと言われている。

男物の作業着を普段着にして、あまり女らしい格好はしていない。
サラマンダ侯国ランダールにある居酒屋「蒸気亭」の看板娘で、
町の人気者。

カレナドリイは、古代ディーネ語で「タンポポ」の意味

> i 3 8 2 1 4 — 1 8 3 1 <

ガルフ・キャンタビレイ（アルヴ）

ドライアド王国 キャンタビレイ伯爵

ドライアド王国 王国軍大元帥

ドライアド王国 親衛隊隊長

クレスト：六翅のスズメバチ

カレン

カレナドリイの愛称

菊塵の塚

シャレイを参照

キース（デュナン）

サラマンダ侯国委嘱軍（ドライアド軍）兵士
ランダール近くの山道でエイルを襲った一人

グラニィ・ゲイツ（デュナン）

茶色の髪

ドライアド王国 陸軍中佐

スプリガン所属の部隊司令官の一人

クラカ・ユグセル（ダーク・アルヴ）

アプリリアージェの父
故人

クレハ・アリスパレス
《深紅の綺羅》の現名うっしな

ケイジュ・エウテルペ（デュナン）
ドライアド王国領 ツウレフ島領主
エウテルペ子爵
アキラの父

人物 サ行

サ行

サミュエル・ミドオーバ（デュナン）

禿頭

シルフィード王国 近衛軍大元帥

シルフィード王国 バード長

ガルフ・キャンタブレイと共に、シルフィードの双壁と呼ばれる

> i38215 — 1831 <

サラ（デュアル）

ランダールの宿屋の娘

学校では主席

カレナドリイと同じ年で、ライバル店の娘。

アルヴの地が入った目鼻立ちの整った美人だが、冷血に見える為にさほどもてない。自分よりも人気のあるカレナドリイの優しく明るい美貌に嫉妬して、何かというところ突っかかってくる。しかし悪意はそれほどなく、基本的には友達である。

サンテ・ミアダンテ（デュナン）

マーリン協会 賢者

賢者名 《潤の鈎》うるみのかぎ

シルフィード王国 近衛軍 准尉

シエナ・フィリスティアード（デュナン）

金髪碧眼

ルルデ・フィリスティアードの義兄

サラマンダの反政府ゲリラ組織の隊長

元サラマンダ王国正規軍 少佐

正式名称：サラマンダ王国正規軍南方方面第三師団所属フィリス

ティアード独立部隊 隊長

ジャミール族と交流がある

ジエデッタ（デュナン）

ランダールに済んでいる老人。

カレドナリイの知り合い。

シグ・ザルカバード（アルヴ）

禿頭 灰色がかった緑眼

正教会 賢者（大賢者）

賢者名 真赭の頤まそほのおとがし

ルーナー（エクセラ）

グラムコール：ザルカ

儀仗：（材質白っぽい石）

自称二百歳

クレスト：「儀仗と剣」

エルデとラウの師匠

また、ラウの実父

シスカ・ジャミール（ダーク・アルヴ）

ジャミール族の族長補佐役である四人組の次席

ルーナー（コンサーラ）

グラムコール ジャミール

シエスター（デュナン）

カレナドリイの叔父

手品ができる

シエリル・ダゲット（デュナン）

髪 栗色の巻き毛

瞳は鳶色

メビウス・ダゲットの实妹

ルルデ・フィリスティアードの婚約者

愛称 シエリー

シルフィード軍の捕虜となるが、兵士では無かった為別途保護扱
いとされいったんシルフィードへ渡る。その後解放され、ウンディ
ーネにいる兄の元へ帰る事になった。その際、ハロウィンやエルネ
ステイーネ達と同道することとなる。

料理が得意。

また、紅茶を上手に淹れる事から、アプリリアージェのおぼえが
めでたい。

> i 3 8 2 1 6 — 1 8 3 1 <

シエリー

シエリルを参照

シャレイ・カンフリーエ（デュアル）

マーリン正教会 賢者（大賢者）

賢者名 菊塵の塚きくじんのはら

ルーナー（エクセラー）

グラムコール クチュリエ

ファーンの兄

ジルバール（デュナン）

賢者《潤の鈎》の部下

深紅の綺羅しんじゆうのきら

クレハ・アリスパレスの賢者名

セロドニ・ジャミール（ダーク・アルヴ）

かつてのジャミールの族長

秀でた刀工で、妖剣ゼプスとミュインモスを鍛えた。

セージ・リヨウガ・エリギュラス（ダーク・アルヴ）

髪 栗色（癖毛）

ドライアド王国 陸軍中尉

スプリガン所属

アキラの副官の一人

炎のフェアリー

蒼穹の台そうきゆうのたい

イオス・オシユティーフエの賢者名

人物 夕行

夕行

ダニエル・ノイエ（デュナン）

カレンの祖父

ルドルフの父

ティアナ・ミュンヒハウゼン（アルヴ）

白髪 緑眼

元シルフィード王国近衛軍 中尉

宮廷警護部隊所属

比較的融通の利かない武人氣質

誕生日がファルケンハインと同じ

クレスト：「桜花星」

> i 3 8 2 1 7 — 1 8 3 1 <

テンリーゼン・クラルヴァイン（アルヴィン）

銀髪緑眼

愛称：リーゼ

二つ名：ドール

風のフェアリー

元シルフィード王国 王国軍 海軍少将

元ルキリア副司令

生後すぐに母親のイルジーが死去。

イルジーの遺言によりガルフ・キャンタビレイに引き取られた。

後見人となったガルフの下で、風のフェアリーとしてのたくいまれな能力を見いだされ、特別な訓練を受けて幼少の頃より軍属とな

り、記録を塗り替える速度で軍に入ってたった五年、弱冠十七歳で将官にまで上り詰めた人物。

幼い頃の病気による障害があり、言葉がしゃべれない。

また、顔半分と体にアザがあり、それを隠すために普段は仮面を付けている事が多い。

> i 3 8 2 1 8 — 1 8 3 1 <

ドリヴル（アルヴィン）

ル＝キリアの小隊長

ザルカバード文書に記載された庵の探索中に殉職したとされている

ドルム・ペトルウシユカ（デュナン）

元ペトルウシユカ公爵

ミリアとエスカの父

ドール

テンリーゼンの二つ名

人物 ナ行 八行

ナ行

ニーナ・ユグセル（ダーク・アルヴ）
アプリリアージェエの母。
アプリリアージェエが生まれたすぐ後に他界

ノガル・ザワデス（デュナン）
ドライアド王国 陸軍大尉
スプリガン所属
ザワデス子爵の三男

八行

白面の悪魔
アプリリアージェエを参照

ハロウ
ハロウインの愛称

ハロウイン・リユーヴァーク（アルヴ）
金髪

緑の眼
長く伸ばしたヒゲ
謎の呪医

水のエレメンタル ルネ・ルーと共に世界中を旅している。

カラティア家とは古くから付き合いがあり、深い関係のようである。

> i 3 8 2 1 9 — 1 8 3 1 <

ハンス(デュナン)

髪 褐色の巻き毛

ランダールの住民

自警団の一員で、蒸気亭の常連客の一人

ファル

ファルケンハインの愛称

ヒノリ・ジャミール(ダーク・アルヴ)

ジャミール族 筆頭副兵士長

ルーナー(エクセラー)

グラムコール ジャミール

ファルケンハイン・レイン(アルヴ)

金髪緑眼

愛称：ファル

風のフェアリー

元シルフィード王国海軍中佐

元ルキリア副司令

骨董屋を冷やかすのが趣味だと思われているが、リリスの加工職人であった祖父の作ったものを探し集めている。

老後はリリス製品の店を持つのが夢

ファーン・カンフリーエ(デュアル)

髪 茶色

瞳

外見はほぼアルヴ。

マーリン正教会 末席賢者

シャレイの妹

ルーナー（ハイレーン）

グラムコール クチュリエ

濃い青色（群青色）の儀仗（普段は髪留め）

元々はイオス付きの部下であったが、ラウの部下に命じられた後はずっとラウと行動を共にしている。

イオスに特殊な処理をされている節が見受けられる

フェリックス

ドライアド王国 国王エラン五世の即位前の名前

フリスト（ダーク・アルヴ）

ル＝キリアの小隊長

ザルカバード文書に記載された庵の探索中に殉職したとされる

> i38220 — 1831 <

フルネ（アルヴィン）

ル＝キリアの小隊長

ザルカバード文書に記載された庵の探索中に殉職したとされる

ベック・ガーニー（デュナン）

髪 褐色

瞳 薄青

サラマング侯国中央部にあるウーモス出身

人物 マ行

マ行

マキーナ・ワルド（アルヴ）

ユグセル公爵家の実質的な切り盛りを任されている老アルヴ
自らも子爵の爵位を持つ貴族

決して表には出ないが、アプリリアージェの良き理解者で、彼女の行動や指示をこなす。

真緒の頭まきほのおうがこ

シグ・ザルカバードの賢者名

マリイ・エウテルペ（デュナン）

ケイジュ・エウテルペ子爵妃

アキラの母

丸ネズミ

マーナートを参照

マナちゃん（マーナート）

アキラからエルネスティーネに譲られたマーナート。

エルネスティーネが命名した。

マーヤ（真綾）

黒髪

黒い瞳

エイル・エイミイの実妹

長い髪と長い睫を持つ大人びた美人。

フォウ在住（日本人）
先天性の重い病を患っており、フォウ（ファランドール・フォウ）の病院で入院生活を送っている。
大きな手術を控えている。

> i 3 8 2 2 1 — 1 8 3 1 <

マーリン

ファランドールを作ったと言われる神

マーリン教はマーリンを唯一神とする宗教である。

姿形はアルヴに似て、額に眼がある三眼の神であるとされている。
千年に一度の「合わせ月」の日に、エレメンタルの求めに応じ、
マーリンの座に降臨すると言われる。

ミカ・ペトルウシユカ（デュナン）

元ペトルウシユカ公爵妃

ミリアとエスカの母

ミヤルデ・ブライトリング（デュナン）

髪 茶色

ドライアド王国 陸軍大尉

スプリガン所属

アキラの副官の一人

愛称 ミーヤ

ミリア・ペトルウシユカ（デュナン）

髪 焦げ茶色の長髪（束ねている事が多い）

瞳 金色（眼鏡着用）

ペトルウシユカ公爵

ドライアド王国北部のエスタリア地方の領主

両親の突然の事故により弱冠八歳で公爵となるが、遊興好きで浪費家、後先を考えぬ祭り好きの性格が災いし、公爵家の財政を傾かせた。

陽気な性格で、自分が興味のある物以外にまったく興味を示さない事から、周りからは親しみと軽蔑を込めて「ばか殿」と陰口を叩かれている。

「月の大戦」の頃、白の国エスタリアのバカ殿と言えばフアランドールで知らぬものがない程有名であったとされる。

奔放な筆致と大胆な構図、数々の新技法を編み出したと言われる希代の画家としても有名である。

「構図の魔術師」あるいは

「空間表現の父」などと呼ばれる

多作で、数多くの作品が名作として後世に伝えられているが、有名な画家だけに贋作も多い。

クレスト：「四連白野薔薇」

ミーヤ

ミヤルデ・ブライトリングを参照

メビウス・ダゲット（デュナン）

シエリル・ダゲットの実兄

サラマンダの反政府ゲリラ組織の副隊長

元サラマンダ王国正規軍 少尉

元サラマンダ王国正規軍南方方面第三師団所属フィリスティアー

ト独立部隊 副隊長

メリド・ジャミール（ダーク・アルヴ）

ジャミール族兵士長

ルーナー（コンサーラ）

グラムコール ジャミール
イブロドの夫
ルーチェの父

> i 3 8 2 2 2 — 1 8 3 1 <

モーリッツ・クラルヴァイン（アルヴァイン）

故人

シルフィード王国 男爵

シルフィード王国 王国軍中尉（殉職により特佐）

テシリゼンの父

クレスト ルヴラ（キョウチクトウの一種）

人物 ヤ行

ヤ行

ユズカ・ユグセル（ダーク・アルヴ）

伝説時代のファルンガ領主 ユグセル公爵

アプリリアージエの先祖

ワルド子爵家がユグセル公爵家の臣家しんけとなった逸話に登場する人物。

ユート・ジャミール（ダーク・アルヴ）

故人

ラウやエルデと共にシグに師事する元賢者候補生であった

ジャミールの里出身

ルーナー（エクセラ）

グラムコール ジャミール

メリドの息子

ラシフの孫

メリドとイブロドの息子

ルーチエの兄

修行中に命を落とした

ユーリ・ファウル・エウテルペ（デュナン）

ドライアド王国領 ツウレフ島領主 エウテルペ子爵の三男で嫡子

アキラの弟にあたる。

人物 ラ行 ワ行

ラ行

雷帝

数多くあるアプリリアージェエの別称の一つ
アプリリアージェエが、雷を操る珍しいフェアリーである事からこ
う呼ばれる

ラウ・ラ＝レイ（アルヴ）

金髪 緑眼

正教会 賢者

賢者名 二藍ふたあいのせんりつの旋律

「魅了」の能力をもつ

ルーナー（コンサーラ）

グラムコール：ザルカ

儀仗：

現世では吟遊詩人としてダ＝ラーラという三弦楽器を弾いて歌う。
美しい女吟遊詩人として旅人の中では話題になっている。

ルーンはシグに師事。シグ亡き後はイオスの弟子となり、彼の命
令により現世で精霊陣の破壊を行っている。

ファランドール中に設置された精霊陣を見つけ出し、イオスの指
示により破壊をしている。

> i 3 8 2 2 3 — 1 8 3 1 <

ラシフ・ジャミール（ダーク・アルヴ）

髪 薄茶色

瞳 緑

ジャミール族 族長
ルーナー（エクセラ）
グラムコール：ジャミール
ルーチエの祖母にあたる
クレスト：「交差矢羽根」

> i 3 8 2 2 4 — 1 8 3 1 <

ラメルデ・ダウ（デュナン）
サラマンダ侯国委嘱軍（ドライアド軍） 伍長
ルーナー（エクセラ）
グラムコール：デルワ

リサ
リザルフェルチエの愛称

リザルフェルチエ・ノイエ（デュナン）
愛称：リサ
カレンの実母（故人）
ウンディーネの少数民族で、古代ディーネ語を一部知る。
リザルフェルチエは、古代ディーネ語で「ひまわり」の意味

リリア
アプリリアージェを参照
リーゼ
テンリーゼンを参照

ルドルフ・ノイエ（デュナン）

茶髪 青眼

サラマンダ侯国ランダールにある居酒屋「蒸気亭」の主人

カレンの実父

ランダール自警団の団長

シルフィード王国軍と極秘に取引があり、蒸気亭はランダールの補給係を兼ねていた。

自警団はシルフィード王国軍の援助により、武器などを調達していた。

ルネ・ルー（デュナン）

赤毛

青い瞳

水のエレメンタル

真っ赤な長い巻き毛を持つ十二歳くらいの少女

ハロウィンと行動を共にしている。

幼い見かけとは裏腹に、かなりしっかりとした性格で、知識も大人顔負けの豊富さで、しばし周りを驚かせる。

家事全般に長け、スーパー主婦の一面も持つ。

性格は陽気で前向き。

少々怪しい（エルデ談）古語を使う。

> i38225 — 1831 <

ルル

ルルデ・フィリスティアードの愛称

ルルデ・フィリスティアード（ピクシィ）

瞳髪黒色

愛称 ルル

炎のエレメンタルではないかとされる

シエナ・フィリスティアードの義弟

シエリル・ダゲットの婚約者

サラマンダの反政府ゲリラ組織に所属する剣士

ルーチエ・ジャミール（ダーク・アルヴ）

茶色の髪

緑色の瞳

高位ルーナー

ジャミール族 次期族長

メリドとイブロドの娘

ラシフの孫

クレスト：「交差矢羽根」

ロンド・キリエンカ（デュアル）

ペトルウシユカ家に古くから使えるキリエンカ家の当主。

ミュゼにあるペトルウシユカ男爵邸（エスカの屋敷）に在り、ペトルウシユカ公爵家の財政を切り盛りしている。

ローレル（アルヴ）

ル＝キリアの一員

ザルカバード文書に記されていた偽の庵の一つで絶命したとされている

ワ行

用語 ア行

ア行

アアク（地名）

シルフィード大陸東海岸に位置する街

ファルンガ地方の南東の温暖な地域にある。

質のいい檸檬の産地として知られる

特産品はジャミールの金、と呼ばれる黄色の輝きが美しい布。

別名「クチナシの町」

アアク歴史資料館

ファルンガ州にある地方都市アアクにある小規模の歴史博物館

アトラックの日記が保管されている

アイス

ファランドールの天空を回る二つの月のうち、明るい月の名前

デヴァイス

アカデミー

王立貴族学校の通称

ドライアドの首都ミュゼにある寄宿舎制の教育機関

後の国立ミュゼ大学の前身。

貴族の子女の教育機関であり、幼少の頃から貴族間の交友関係を

築く為の施設でもある。

十歳から十七歳までの一貫教育校である。

卒業後は男子は地位を得る為に軍に入るのが通常で、入隊すれば通常は少尉となる。

ただし爵位のある家の嫡子は別格で、公爵や伯爵の嫡男は入籍す

れば少佐の階級を得る。

アクラム（地名 アクラムの森）

サラマンダ大陸内陸部の森林地帯

反政府ゲリラの大きな拠点があった。

アプリリアージェ（酒造会社）

「月の大戦」以降に名称変更された。

酒造会社名

サラマンダの中央部にあるランダールという町にあり、ワインコンテスト上位の常連としてつとに有名。

酒豪で有名な歴史的人物、アプリリアージェに由来

アロゲリク山

サラマンダ中央北部にある休火山

付近には温泉が湧くことで知られている。

有名な温泉保養地ウーモスが近くにある。

アロゲリクの溪（たに 地名）

サラマンダ中央部の地名

いわゆるザルカバード文書には大賢者《真楮の頤》の庵があった
記されていたという

アルヴ（人種）

ファランドール最大の人類

長寿で、200歳くらいは生きる

人形や彫刻のように整った美貌を持つが、デュナンから見ると表情が乏しく皆似たような顔立ちに見える。

巨軀出あるため、腕力ももつとも強く、およそデュナンの二倍か

ら三倍近いとされている。

第一次性徴時に体に大きな負担がかかるため、命を落とす事が多い人種でもある。

純血のアルヴは耳の先がややとがっており、瞳が緑色系なので、瞳の色が緑以外の色になるのは、アルヴにわかる。

デュナンの血が入った子は、瞳の色が緑以外になるので、アルヴかデュナンか迷った場合、瞳の色を見ればわかる

アルヴィン（人種）

ダークアルヴの亜種。

フアランドール最小の人類

アルヴと同じく長寿で、200歳以上生きるとされる。

小柄で腕力がないが、身が軽い。

十五歳ほどで外見は固定され、老人となっても外見はそのまま変わらない。

アルヴ族はすべてアルヴと同様、顔は人形のように整い、耳の先が少しとがって瞳は緑色である。

これも同じくデュナンの血が混ざった子は、緑色の瞳を持たない。

アルヴスパイア

シルフィード王国に古くから伝わる特殊な布の名前

火にくべても燃えず、汗は通すが雨に濡れない、簡単な空調機能を持つ。

また異様に軽い。

その特徴から、マントなどに用いられる。

無糸縫製で製品にされるが、特殊な技術が必要で生産数が少なく、非常に高価。

合わせ月

フアランドールの天体を回る二つの月、アイスとデヴァアイスが完

全に重なり一つに見える天体現象。

「マーリンの座」では千年に一度起こり、特別な日とされている

アージエ

「月の大戦」以降、シルフィード西部にあるエトワールで販売されている最高級茶葉の名称。

紅茶好きの歴史的人物、アプリリアージェの名が由来

ウィルクード

植物の名称

肥沃な高地に自生する一年草

換装させて煎じて飲むと解熱左様があるとされる薬草でもある。エルデが「飲むと死ぬ薬」の調合用に調達屋ベックに特注した

ヴェッタ（地名）

シルフィード大陸の西部にある古都。

かつてシルフィード王国の首都であり、順番に遷都が行われるいわゆる五都のうちの一つ。

ヴェリーユ

新教会の本山

ウンディーネ中央南部、サラマンダとの国境に近いノーム山脈の麓にある独立した自治都市。

新教会の組織を指してヴェリーユと呼ぶ事もある。

ヴェルディエ通り

シルフィードの首都 エッタの大通りの名称。

王宮前 中央広場続く四本の大通りの一つ

写し

ルーンが記載された書物の事。
半本を参照

現世うつしよ

正教会用語

正教会は協会の敷地内を常世とこよと呼び、その外界、普通の世の中、市井を現世と呼び、区別している。

元々正教会は基本的に出家のみで構成された宗教であるため、修道院の外をすべて現世と呼んでいたが、在家信者が増えて行くに従い、土地の境界線の内外の呼称となつていった。

それとは別に、賢者会ではヴェリタス、つまり正教会本部がある宗教都市以外の世界を「現世」と呼んでいる。

つまり、賢者の言う現世とは本部以外の世界であり、一般の教会関係者の言う現世より範囲が広い

現世の道

ジャミールの里で使われる用語

通常の山道から里へ続く道の事

ウンディーネ連邦共和国

サラマンダ大陸北部に位置する、都市国家の集合体。連邦制を取っており、首都島アダンに最高議会と元老院の二院を置いている。

首都 アダン

ウーモス（地名）

サラマンダ中央部にある温泉で有名な保養地。

アロゲリク山脈の最高峰、休火山であるアロゲリク山の北西の麓にあり、二つの河が合流する砂州地帯に発生した町で、サラマンダ中央北部の山間地帯ではもともと人口が多い都市である。

比較的規模の大きな軍の駐留地もある。

暗珠の呪法

呪法の種類

一定の範囲にいる人々の直前の記憶を消す事ができる。
術者とある程度以上の人間関係が出来ていると効かない。
術者の血液を消費する

エア

非エーテル地帯

非エーテル域

精霊の墓場

などとも呼ばれる

エーテルの力を使うルーナーだけでなく、フェアリーも能力を封じられる空間。

ウンディーネ首都島のアダンは全体がエアの領域内にあることで知られている。

エイビタル（地名）

ドライアド王国北部のエスタリア地方の山間部にある避暑地。

ペトルウシユカ公爵家の別荘がある。

失脚したミアアが、エスカによってしばらくエイビタルに軟禁されていた事で有名な土地である。

エイリアス

ルーンを短縮する手法

ただし、机上の空論という説がある

エキユ

ファランドール統一通貨単位

補助単位はサイン

地球の日本における「円」換算だと、その価値は概ね「一エキユ」100円程度と思われる。

エクセラ―

ルーナーのうち、攻撃ルーンを専門とする者の呼称

エスタリア

ドライアド大陸の北方に位置する地方。

ペトルウシユカ公爵領

別名 白の国

豊かで領民の生活にはゆとりがある。

ノーム山脈のせいでドライアド本国から隔絶されている地域

エスタリア音楽祭

エスタリアで毎年行われる世界最大、最古の音楽祭。

エスタリア大吟遊会を参照

エスタリア公爵軍

ペトルウシユカ公爵家が所有する軍隊。州兵という括りに入れられる事が多いが、公爵家の財政のみでまかなわれている特殊な軍隊。後にエスカがドライアド国王エラン五世に軍の維持費込みで献上したと言われている。

エスタリア公爵符

エスタリア領主が発行する通行手形の事

いわゆる「お墨付き」で、発行者の社会的地位や財力により効力には幅がある。

また、同じ名前であっても、様々なエディションがあり、それによっても効力が違う。

エスタリア公爵符はペトルウシユカ公爵が発行するもので、発行

枚数は非常に少ない。

エスタリア大吟遊会

月の大戦の少し前にドライアド北部のエスタリア地方の首府、ソリユートで開催されていた当時世界最大と噂された吟遊詩人達による音楽大会。最盛期は三ヶ月の一度の頻度で催されていた。

「エスタリア音楽祭」の前身

エトワール

シルフィード大陸西部にある港町

ファランドールとも言われる上質な紅茶の集積港として名高い。俗に「エトワール産の高級茶」と言う言い回しをする事があるが、エトワールは産地ではなく、集積地の名前であり「エトワール産」という表現は正しくない。

上質な茶葉のみを交易する港である事からそのような表現をされる事が多い。

エツダ（地名）

シルフィード王国の首都

シルフィード大陸中央、東部に位置する

いわゆる五都の一つ。

エヒル鴨

真っ白で体が大きく、食用にもなる鴨の一種。

両極付近に集団で生息する

メリル海域のエヒル鴨の羽毛は品質が良く、防寒着の詰め物に利用される。

エレメンタル

千年に一度出現すると言われる強大な力を持ったフェアリー。
それぞれの属性毎に一人ずつ、合計四人いる。

エレメンタルについては諸説あるが、基本的にはフェアリーの中でも凶抜けた能力を持つ者で、千年に一度同じ時代に生まれ落ち「合わせ月」と呼ばれる特別な日に四人が集い、世界を救うか滅ぼすかを決定し、それをマーリンに伝えるとされている。

四人のエレメンタルとは、それぞれ炎・地・水・空気の四種類の精霊の力を持ったフェアリーで、それは「始まりの四人」「四始祖」と呼ばれる古王国の創始者の末裔であるとされる。

エレメンタルは全能最高神マーリンに祝福され、マーリンの四方にあってマーリンを守護する者とも言われている。

体のどこかにエレメンタルの徴がある。

エレメンタルの徴

エレメンタルには、体のどこかに必ず「エレメンタルの徴」と呼ばれる痣があり、エレメンタルがその力を使う際にはそれが輝くと言われている。

エレメンタルの徴とはエレメンタルである証しの事で、エレメンタルごとにその痣は違つとされる。一説によるとそれぞれの痣は、マーリンの言葉で、「炎」「水」「大地」「風」と書かれているという。また、その痣は常に現れている訳ではなく、力を発現する際など、特定の条件がそろつたときにのみ現れるとされ、普段の生活をしている人間を痣を頼つてエレメンタルとして特定するのは難しいと考えられている。

公開されているエレメンタルの徴は、シルフィード王女エルネスティーネ・カラティアの左の掌に浮かび上がる文様のみである。

エレルアリーナ

サラマнда山岳地帯に古くから伝わる求婚の歌。またはその旋律の名前。

「エツレ レアール ディナ リーナ（あなたが欲しい）」というディーネ語が変化したものという説があるが、定かではない。

エーテル

精霊波のこと

ファランドールの大気に満ちている見えない力の素で、神の素粒マリン子と呼ばれることもある。

エーテルには炎、地（土）、水、空気（風）の四種類があると考えられる。

フェアリーは自らの体を触媒のようにして単一属性のエーテルを抽出して力に変換する。

ルーナーは自らの体や儀仗、あるいは精霊陣を触媒として単一、もしくは複数のエーテルの力を配合してある力に変換する。

一般にエーテルは「月属性」と「天属性」の二種類に分けられる。月属性は水と地、天属性は炎と空気である

エロハゲジジイ

ラウとエルデがシグを指してこの言葉を使う事がある

エーテルトーク

精霊会話の事

大気中に含まれるエーテル（精霊波）を使い、言葉を伝える能力。フェアリーでも高位の者しか使えない。

ただし能力が必要なのは言葉を発信する方であって受信する者は特に必要な能力はない。

ただし、その場合は当然ながら一方通行となる。

幼少時の高熱で言葉がしゃべれない後遺症を持つテンリーゼンがこのエーテルトークを使って仲間に意思を伝えている

炎精

炎のエレメンタルの事

王立貴族学校

アカデミーを参照

国立中央美術館

「月の大戦」後に設立された、いくつもの建物からなるフェアランド
ール最大の美術館群の総称。

「銀色の髪の乙女」が収蔵されている事で有名な「月の時代館」
も国立中央美術館の一部である。

王立博物館

「月の大戦」後に設立された、いくつもの建物からなるフェアランド
ール最大規模の博物館。

文字通り博物館の展示・研究を行う機関である。

マーリン正教会館はこの博物館群の一つの建物である。

用語 力行

力行

格言・諺パズル

ティアナがエルネスティーネに贈ったとされるパズル。

一つの格言や諺が三つに分解されており、正しく並べ替える学習用パズル。

重ね月

フアランドールの天空を回る二つの月、アイスとデヴァイスの一部が重なる天体現象

完全に重なるものは「合わせ月」と呼ぶ

神の空間

三聖の一人、《蒼穹の台》ことイオスが作り出す特殊な結果その強力な力に「神」の名がついている

完本

ルーンの履行文が完全に記載されているもの。

通常、ルーンは契約文と認証文は秘密保持のために別々に保管されていることが多い為、両方そろった者を敢えて完本と呼び区別している。

対して通常の履行書、即ち契約文のみ、あるいは認証文のみのものを「半本^{はんぽん}」と呼ぶ事がある。

キャンセラ

ルーンを受け付けない先天的な体質保持者

詠唱中のルーナーに触れると、ルーンはキャンセルされる。

またキャンセラに触れられたルーナーは、一定期間ルーンが使えなくなる。

期間はキャンセラとルーナーの力関係により変化する。
なお、フェアリーに対しては効果は無い。

ルーナーが「全のフェアリー」と呼ばれるのに対して「無のフェアリー」と呼ばれる事もある

キャンタビレイ文庫

キャンタビレイ伯爵家の私有図書館

価値ある古い文献が多数眠っているときれるが、個人の所有になる為、自由に閲覧することはできない。

キュア

グラムコール

ルートの一つ

儀仗

杖のこと。

単に儀仗と呼ぶときはルーナーが使っている儀仗の事を指す。

銀色の髪の乙女

国立中央美術館の月の時代館収蔵

ミリア・ペトルウシユカ作の油彩画

モデルは当時のシルフィード王国第一王女、エルネスティーネと言われているが、定かではない。

ミリアにしては珍しい裸婦像でもあり、人気の高い絵である。

金布の民

古代シルフィードから伝わる童話

国王を救った金色の布を纏った英雄が、王女と結婚し、末永く幸せに暮らしたとされる童話。

ジャミール一族の祖と伝えられている

空精

風のエレメンタルの事

クヴェン（地名）

サラマ ندا北西にある港町

庫くら

マーリン正教会の本山にあると言われる秘密の倉庫。

例え賢者でも自由に出入りは出来ず、大賢者以上の資格が必要

マーリンの徴や多くの呪具が収蔵されているとされる。

賢者試験である「授名の儀」は、この庫で行われる

喰らいの呪法

時限呪法の一つ

だんだんと体の感覚を麻痺させていき、最後は心臓や脳に達して死に至る

体表に醜い痣が表れ、進行に合わせて大きくなるのが特徴

感覚を失う度に、地獄の苦しみにも似た痛みに襲われる。あまりの痛みに失神してもすぐに覚醒するほどであり、耐えられず発狂する者も多い

グラムコール

ルーンを詠唱する為の文法の事。

様々な種類があるが、元を辿ると三種類の「ルート」と呼ばれるグラムコールに収れんする。

ルート グラムコール

- ・キユア
- ・ユラト
- ・クラン

その他の代表的なグラムコール

- ・ザルカ
- ・デルワ
- ・クチュリエ
- ・ルードーリタン
- ・ノエン
- ・ヴェイム
- ・テレビエ
- ・シュガー
- ・スビサ
- ・フリッツ
- ・グルヴ
- ・サリエトーリテ
- ・ウェイプサルトス
- ・シュトルムント
- ・ミラード
- ・クステ
- ・フジグ
- ・コーデア
- ・クフィン
- ・ニエクス

クラン

グラムコールの一つ
ルート

クリングラ派マーリン教
マーリン新教を参照

黒目エンドウ

フォウでは「ササゲ」と呼ばれる豆

グワンデ

サラマнда大陸中央西部に位置する中規模の町

小さな村であったが、軍の補給基地が置かれるようになって賑わいを見せた。

迎賓殿

ジャミールの里にある、既賓客用の宿泊施設
エイル達一行がしばらく滞在した。

月歴

現行の星歴の前の暦

二つの月、アイスとデヴァイスの運行を基準として定められた暦
ズレの修正の為に「閏」暦が再三必要であったため、星歴に代わった。

ゲルデ

比較的高い標高に自生する一年生の植物。
根に毒があり、大量の根を干して煎じることで毒薬を作ることができる。

賢者

高位のルーナーとフェアリーで構成されている役職。
基本的に決して面に出ることは無く、秘密裏に行動をしている。

賢者は有史以前から「賢者法」と呼ばれる古代法によりその行動の自由が保障されている。裁判権や処刑権すらも与えられており、それは各国の法律の上位にある。きわめて特別な存在と言える。

その代わり賢者法には「賢者は嘘をついてはならない」など、行動を律する項目も多い。

賢者は賢者としての権利を行使する際、名を名乗り、「賢者の徴」を掲げる必要がある。

賢者の徴は通常、儀仗などに埋め込まれているスフィアで、正教会の紋章を浮かび上がらせる事ができる。

上下関係も非常に厳しく、以下の通り、五つの階級に分かれている

- 1) 大賢者（定数：四）
- 2) 上席
- 3) 次席
- 4) 三席
- 5) 末席

立場が下の者は上の者に原則として逆らえない。

正教会の裏組織である「賢者会」を成す。

普段は隠れているが、額に第三の目があり、力を解放する際には現れる。

第三の目の瞳は全て真つ赤である。

正教会には「賢者」と呼ばれる教会の頂点に立つ立場の人間が百五人いると言われている。

彼らは唯一神であるマーリンが「合わせ月」の日に復活するといふ伝説の場所「マーリンの座」を守る「三聖」という絶対不可侵の存在である三人の賢者の配下にあつて「賢者会」という組織を成している。

特にその戦闘能力は高く、過去の歴史書には賢者十人で十万人の

大軍団を全滅させた事例が公式記録として残っている。

ほとんどは高位ルーナーで構成されるが、一部フェアリーも存在するという。

「賢者」には正教会配下の組織にいる者のうちから老若男女問わずに抜けた能力を持つものが選ばれるとされているが、その内幕は全く明かされておらず、百五人いると言われている賢者の名前や素性はほとんど知られていない。

正教会側の外交窓口としては、通常「賢者会」の下に位置する「神官」と呼ばれる地位にあるものがこれにあたり、「賢者」が表に出ることはほとんどない。

賢者の徴

儀仗に埋め込まれているスフィアの事

発光するとスフィアに埋め込まれているマーリン正教会のクレストが浮き上がる

マーリンの徴という言葉はしばし賢者の徴を指すこともあるが、賢者の徴が第三の眼を指すことはない。

幸福な傀儡

ラウの魅了の力による呪法

カレナドリイに使われた

古語

ノーム系言語の一つ

ファランドール公用語である同じノーム系の「南方語」とは母音の数や抑揚、単語などが違う、古の言葉。ウンディーネ北部では使われている集落もある。

また、ウンディーネ首都島アダンの古くからの「市民」は古語をしゃべると言われている。

本編では古語好きの大賢者《真緒の願》まそほのおとがひが弟子に強要した事にな

っており、弟子であるエルデヤラウなどが使う。また、ウンディーネの北部集落で育ったとされるルネ・ルーも古語を使用するが、エルデに言わせると「怪しい古語」のようである。

古代ディーネ語

ディーネ系

マーリンが使う言語と言われる。

ディーネ語には文字がないが、古代ディーネ語にはある種の意味を持たせた記号があり、神痕しんこんとも呼ばれる。

古代ルーン

一般ルーンとは敢えて呼称を変えているが、ルーンの総称。

ルーン研究の途中で「生まれてしまった」ルーンのうち、制御が極めて難しい強力なルーン群をそう呼ぶ。

ほとんどが有史以前に生まれ、封じられたルーンであるため「古代」の名がついている。

五大老

ドライアド王国国王 エラン五世の後見を勤める五人の伯爵の総称
ドライアド王国の政治の実権を握っている。

こっちの主張は全部通すぜ、なーんちゃってルーちゃん人質大作戦
エルデー行がジャミールの里に入る際に行われた作戦名
エルデが命名

五都

シルフィード大陸にある五つの古都の総称。
五百年毎に遷都が行われるスツダ、メツダ、エツダ、ノツダ、ヴ
エツダの五都市。（首都が置かれた順番）

コンサーラ

ルーナーのうち、強化ルーンを専門とする者の事
ルーナーを参照

用語 サ行

サ行

サイン

ファランドール共通通貨エキユの補助単位
百サイン＝１エキユ

サフル（地名）

サラマンダの南部にある村
カレンの親戚が居る

サラマンダ王国正規軍

十年戦争で滅びたサラマンダ王国軍の事
赤を基調とした軍服で知られる

サラマンダ侯国

サラマンダ大陸南部に位置する侯爵が君主となっている国
首都トリムト

サラマンダ大陸（地名）

狭義ではサラマンダ王国が存在したノーム山脈から南のノーム大陸南部地域を指した地名だったが、その後はノーム大陸とサラマンダ大陸は同じ意味で使われるようになっていった。

ザルカバード文書

大賢者シグ・ザルカバードの名前で各国の盟主に対して送られた怪文書の通称。

いくつかの「庵」という地点が示されており、そのうちのいくつ

かにエレメンタルの居場所が記されているという。

だが、この文書を受け取った各国首脳、特にドライアドの五大老はこれを大賢者シグ・ザルカバードの亡命要請書だと考えた節がある。

三聖

マーリン正教会の真の顔である「賢者会」を支配する三人の特別な賢者の事

その姿を見たものはほとんど居ないので、謎に包まれている

三人の子

始祖ドライアドの子供

キュア、ユラト、克蘭の三つ子で、それぞれがルートのグラムコールを作り出した。

始祖

混乱状態にあったファランドールを平定した英雄。

四つの大陸の最初の王とも言われている

また最初のエレメンタルでもある

ドライアド（地のエレメンタル）

シルフィード（風のエレメンタル

ウンディーネ（水のエレメンタル）

サラマンダ（炎のエレメンタル）

試闘しつう

シルフィード軍に伝わる慣習の一つで、味方同士の力比べをやりたい者が行う一対一で行う公開模擬戦闘。

基本的には規則化されていたと言われている。

ただし、諸般の事情も考慮されており、誰でも参加できるものはなかったようである。

原則として階級が同じ者同士でしか行えない。
それ以外にも下士官以上大佐以下であること（記録では兵長以上であったとされる）など、いくつかの規則がある

シルフィード王国

カラティア朝シルフィード王国

カラティア家の単一王朝。

ファランドール最古の王朝である。

シルフィード大陸全土を領土とする王国

主にアルヴ族を構成人種としている

国王：アプサラス三世

首都：エツダ

国旗：カラティア家のクレストである桜花

なお、カラティア家は、始祖の一人、エレメンタルであるシルフィードの系譜の家柄だとされている。

シルフィード軍

シルフィード王国の軍隊は、指揮系統と役割から、大きく二つに分かれる。

すなわち

シルフィード王国軍

シルフィード近衛軍

の二つである。

各軍の統括はそれぞれの大元帥が行う

王国軍は、いわゆる軍隊で、海軍と陸軍に別れている。

近衛軍は首都警護専門の軍隊であり、王宮含め守備の部隊で、それ以外を王国軍が担う。

シルフィード王国海軍

正式名はシルフィード王国軍 海軍

黒い軍服が特徴

シルフィード王国陸軍

正式名はシルフィード王国軍 陸軍

白い軍服が特徴

シルフィード近衛軍

首都および王宮を守護する軍

近衛軍大元帥が率いる

近衛軍式礼：右腕を左胸に当て、頭を小さく垂れる

呪医

ルーナーとは限らない。

呪法を封じた治療具を使う事からその名がある。

呪印

呪法によって被術者に現れるあざの事。

十二色

唯一神マーリンからファランドール治める事を命じられた十二の
一族の総称。

それぞれの一族に名乗るべき色が与えられた。

色には席次がある

マーリン正教賢者会の母体と言われている。

守護の一族

三聖の守護を役割とする一族

呪法

ルーナーとは違い、ルーナーでなくとも使える。

発動現力（触媒）として血を使用するものが多く、効果は範囲ではなく単体に作用するものがほとんどである。

一般に触媒に使う血液の量が多いほど効果が高くなるとされている。

ルーナーであれば、より強力な呪法を使える。

なお、新たな呪法の研究は国際法により禁じられている。

参照 呪医

授名の儀

マーリン正教会の儀式の一つ

実質的な賢者認定試験で、マーリンの徴と呼ばれる第三の目の受け入れを行う儀式

失敗すると命を落とす。

庫くらと呼ばれる秘密の倉庫の前で大賢者と上席賢者数名の同席のもとで行われる

神痕しんこん

古代ディーネ語を使った記号による文章
精霊石などに使われる

ジャミール族

シルフィード王国に古くから存在するダーク・アルヴの一族

マーリン教の傍流宗教を深く信仰する排他的な一族で、シルフィード王国が宗教廃止令を出した時に迫害を受け、サラマンダの奥地に逃れ住んだとされている。

ルーナーの素質を持つものが多く、かつては何人もの賢者を排出したことでも知られている。

クレスト 違い矢

ジャミールの里

サラマンダ大陸のノーム山脈東部にある活火山レイジノ山の麓にあったとされるジャミール一族の隠れ里

月の大戦の前年にあったレイジノ山の噴火で消滅したとされる

州兵

領主が独自に編成した軍隊の総称。

白の国

ドライアド王国北部にあるエスタリア地方の別名。

冬には領土全体が深い雪で覆われる為、そう呼ばれる

新教会

マーリン新教会を参照

神具

アトラックが適当に口にした架空の道具。

彼の説に依ると百五個あり、賢者が所有しているらしい。

おそらく呪具と混同していると思われるが定かでは無い。

臣家しんけ

主に王や貴族を戴く一族の事。

一般的に貴族は王の臣家と言えるが、敢えて臣家という言葉を使う場合は、貴族を主として使える貴族の家柄の事を指す。

有名な臣家はユグセル公爵家に長く使える臣家、ワルド子爵家がある。

神名の欠落

始祖ドライアドにまつわる神話に「一人の子供と三人の子供を産んだ」と言う一節があるが、「三人の子」にはそれぞれキュア、ユラト、クランという名前が伝わっているにもかかわらず、「一人の

子」には名前が伝わっていない。
神話に於ける謎の一つ。

水精

水のエレメンタルの事

スカルモールド

異形の化け物。

出自は謎。

アルヴの数倍もあると言われる体躯に、三本以上の腕を持つ。

土色の体色。

ほぼ骨格のみで構成され、圧倒的な力で人間を握りつぶして喰らう

言葉は持たず、知能も低い。

出現してから一時間程度でなぜか消滅する。

スツダ（地名）

シルフィード大陸南部にある古都。

遷都が行われるいわゆる五都の一つ。

スプリガン

ドライアド王国 陸軍所属の特別工作部隊の識別名

俗称と言われる事があるが、識別名なのでスプリガンもれっきとした登録名である。

正式名称はドライアド陸軍第五十二独立部隊

部隊章 赤いオークの葉

初代司令官が、赤ら顔で醜い小鬼のような容貌であったことから、揶揄的に呼ばれていた名前が定着したものとされている。

また通常は陸軍の尉官以上の階級章はオークの葉の色が金系であるが、スプリガンのみ赤系である。これも初代司令官の赤ら顔に由来されていると言われる。

総司令官：アキラ・アモウル・エウテルペ

正教会

マーリン正教会を参照

精霊会話

エーテルトークを参照

精霊祭

二つの月が満月になる二日前から三日間をそう呼び、各地で祭礼や催事が行われる特別な日。

多くの町では規模の大きな市が立つ。

また、精霊祭の頃は「月属性」の精霊波エーテルの勢力が強くなると言われている。

精霊陣

あらかじめルーンを仕込んだ陣。

ルーンの増幅用に用いられる事が多く、能力の伸び代が止まったルーナーが使う事が多い。

精霊陣はルーナーによりそれぞれ独自に作り出されるが、精霊陣を作り出すには、相応の知識と技能が求められる為、ルーナーなら誰でも作れるというものではない。(簡易なものは別)

別名 ルーンサークル

精霊石

一般に呪法やルーンを封じ込めた石の総称だが、本来は神痕を術者の血で記したものだ。

ルーナーでなくとも使用できる消費型の特殊な機能石

ルーンストーンとも呼ばれる

ルーンを使えない普通の医者¹が治癒系の精霊石をよく使う
また、様々な種類の治癒系精霊石を状況に応じて巧みに使う知識
と技術を持つ者を呪医と呼ぶ。

精霊殿

ジャミールの里にあった、建物の形をしたルーン増幅用精霊陣。
上から見ると八角形の形をしている

精霊の墓場

エアを参照

精霊波

エーテル

精霊履行

精霊履行文も同じ意味
ルーンを参照

星歴

現行の暦

基準星を天心星としたもの。

二つの月の運行を基準とした月歴げつれきに代わり、より正確な暦として
採用された。

ゼプス

妖剣

ジャミールの刀工、セロドニが鍛えた
ミュインモスと対で力を発揮する
ゼプスとは、古代ディーネ語で「夢」という意味。

セレナタイト

発光石の一種

消費型で、一度使うと発光が終わるまで光り続け、再利用はできない。

似たような発光石にはルナタイトと呼ばれるものもある

前座

伝説ではマーリンの座に通じる広間だと言われている。

正教会用語では、ヴェリタスの奥地にあり、三聖がいる部屋とされる

千日戦争

「月の大戦」の約十年前に行われた世界大戦。

サラマンダがウンディーネを支配しようとして勃発したが、ウンディーネがドライアドを頼り、参戦。その後シルフィードも加わり世界大戦となった。

サラマンダは敗北し、国王は戦死。王族も滅び、終戦と同時にサラマンダ王国は滅亡した。

その後サラマンダはドライアドとシルフィードの共同統治となり、両王国にゆかりのある侯爵を立て、サラマンダ侯国を発足させた。それがトリムト条約である。

双剣の風使い（絵画）

ミリアの筆に依るものとされ、生前のテンリーゼン・クラルヴァインの姿であるとする説がある。

空の王（絵画）

国立博物館 マーリン正教会観に所蔵されている小さい油彩画
ミリアの筆に依るものとされ、生前のイオス・オシュティーフエの姿を描いた唯一の絵画として画壇だけで無く歴史的にも注目され

ている。

連作「三聖」のうちの一枚である。

ちなみに「三聖」という連作であるとしたのは後生の絵画研究者であり、ミリアが連作としたわけではない。

ソリユート（地名）

ドライアド王国北部にあるエスタリア地方の首府

用語 夕行

夕行

第二の生

三聖《深紅の綺羅》が使う事ができるとされる呪法
死者を蘇らせる事が出来る、いわゆる反魂の術の一つ

昼星

地球で言う太陽のこと

天心星とも呼ぶ

天心星

地球で言う太陽のこと

昼星とも呼ぶ

ダーク・アルヴ（人種）

別名：北のアルヴィン

容姿や特徴はほとんどアルヴィンと同じで、ふぁランドール最小の人類。

違う点は、

1) 肌の色が褐色系

2) まれに黒髪が生まれる

アルヴィンを参照

月の時代館

国立中央美術館を構成する建物の一つ。

「銀色の髪のエ女」が有名

月の大戦におけるブライトリング録
「月の大戦」後に出版された、ミヤルデ・ブライトリングの個人的な覚え書きなどがまとめられた資料集

地精

地のエレメンタルの事

昼星

天中星のこと

フアランドールの太陽

調達屋

フアランドールの情報や物流を裏で支える広域の組合組織

調達屋に頼めば手に入れられない者は無いと言われるように、合法のものだけでなく、非合法の品物や極秘の情報も仕入れることができる。

もちろん報酬金額の多寡による。

大きな町には調達屋組合があり、組合に所属していない個人的な「仕入れ屋」を徹底的に排除する排他的な集団でもある。

ツイフォン

遠隔話法。呪法の一つと言われる。

安定した行きが連続している範囲ならば通話可能だが、相手が特定される。

また、媒介者の肉体的な負担が大きい。

《蒼穹の台》が使ったと言われている。

ツウレフ島

ドライアド王国領

サラマンダ大陸の東、ドライアド大陸の西、赤道直下に位置する
ファランドール最大の島。

かつては独立した国であったが、ドライアドに併合された。

ツエルダーチエス通り

シルフィードの首都 エツダの大通りの名称。

王宮前 中央広場が続く四本の大通りの一つ

ディーネ語

ディーネ系の言語。

文字に当たるものを持たない為、廃れた。

ほぼ現存していない。

より古い古代ディーネ語が源流とされる。

デヴァイス

ファランドールの天空を回る二つの月のうち、暗い月の名前

アイス

デュアル（人種）

デュナンとアルヴ族との混血

デュナン（人種）

デルワ

グラムコールの一つ

ラメルデが使っていた。

伝信

フォウの手紙に相当するもの

ただし、いわゆる「局」留めのイメージ。

主にセキュリティの問題で当時はまだ個人宅に配達されるシステムはなく、伝信所と呼ばれるところに自分宛に届いていないかどうかを尋ねて行く方式をとっていた。個人間のやりとりは別だが、多くは暗号的なメッセージのやりとりになっていたと言われている。

天中星

フアランドールの太陽の事

昼星ちゆうせいとも言つ

トウセーク（地名）

サラマンダ西海岸北部にある港町

ウンディーネやシルフィード航路がある。

遠き夢のレナンス（絵画）

ミリアの筆に依る油彩絵画

アキラをモデルにした絵と言われている

常世とこよ

マーリン正教会用語

狭義ではマーリン正教会の本山、ヴェリタス内の隔絶した世界のこと。

広義では正教会の敷地、つまりマーリン正教会の掌握する内部世界内部世界の事。

それ以外の一般社会の事は現世うつしよと呼ぶ

トネリコの大樹と双美人

シルフィード王国 ユグセル公爵家のクレスト

鷲色の瞳のシェリル（曲名）

正式名は「エレルアリーナの主題による変奏曲」

トリムト

サラマンダ侯国の首都

サラマンダ大陸中央東部に位置し、温暖な気候。

古くからの都で、前身のサラマンダ王国時代からの首都である。

トリムト講和条約

千日戦争終結後、サラマンダ王国に代わりサラマンダ侯国を発足させる為にドライアド王国とシルフィード王国間で交わされた条約後にウンディーネ共和国もこの条約を認めた。

トリムト条約と略されることが多い。

ドライアド（アルヴ）

四始祖の一人。

最初の地のエレメンタルと伝えられている

別名 ルーンの子、ルーナーの母

伝説に「一人の子供と三人の子供を産んだ」とあり、「三人の子」はキユア、ユラト、クランという名で、それぞれが独自の文法による言語を作り上げ、それがルーンの子となったとされている。いわゆる「ルート」のグラムコールはこの三人の名前である。

ドライアド王国

ファルナ朝ドライアド王国

国教 マーリン正教

国王はエラン五世

ドライアド大陸全土とサラマンダ大陸の一部、およびトゥレフ島を領土とする王国。

主にデユナンを構成人種としている
政治的な実権は五大老が握っている。

ドライアド王国軍

陸軍と海軍からなる。

順列はないとされるが、陸軍の人数が圧倒的に多い為、同じ総軍
元帥同士では陸軍総軍元帥の方が立場が上であったようである。
組織はどちらも基本的に同じ構造で、ファランドール最古で、洗
練されたシルフィード王国軍を手本にしたものだと言われる。

ドライアド王国陸軍

オークの葉の旗印

尉官以上は軍服に金系のオークの葉の階級章章を付けている。

尉官は一枚、佐官は二枚、将官は三枚である

また、それぞれの葉の上にはオークの実を簡略化した菱形の形が
あり、この個数で階級を表す。

即ち少尉は一枚のオークの葉に一つの菱形。大佐であれば二枚の
オークの葉に三つの菱形、である。

なおスプリガンのみ、金系ではなく、赤系の刺繍になる。

下士官は黒系の菱形の個数で階級を表し、兵卒は同じく白系である

将官

- ・ 総軍元帥（オークの葉三枚 菱形五個）
- ・ 元帥（オークの葉三枚 菱形四個）
- ・ 大将（オークの葉三枚 菱形三個）
- ・ 中将（オークの葉三枚 菱形二個）
- ・ 少将（オークの葉三枚 菱形一個）
- ・ 准将（オークの葉三枚）

佐官

- ・大佐（オークの葉二枚 菱形三個）
- ・中佐（オークの葉二枚 菱形二個）
- ・少佐（オークの葉二枚 菱形一個）
- ・準佐（オークの葉二枚）

尉官

- ・大尉（オークの葉一枚 菱形三個）
- ・中尉（オークの葉一枚 菱形二個）
- ・少尉（オークの葉一枚 菱形一個）
- ・准尉（オークの葉一枚）

下士官

- ・曹長（黒い菱形四個）
- ・一等軍曹（黒い菱形三個）
- ・二等軍曹（黒い菱形二個）
- ・伍長（黒い菱形一個）

兵卒

- ・上等兵（白い菱形三個）
- ・一等兵（白い菱形二個）
- ・二等兵（白い菱形一個）

用語 ナ行

ナ行

南方語

ノーム系言語の一つ。

現在のファラランドールでは共用語（標準語）とされる。

マーリン正教会が月歴時代に古語を基本として簡略・合理化し、制定したもの。

各国に批准させ、以来公用語は南方語となり、以降ほぼ唯一の言語として流通した。

認章

調達屋の通行手形のようなもの。

通常、調達屋は地域定着型で、その地域の調達屋組合に所属して活動するが、組合が認められた場合に限り、地域を越えてどの組合を通じても活動することが可能になる証書。

組合に対してそれなりの貢献度があり、組合が推薦できるとする人物にしか発行されない。

言い換えるならば、認章を持っている調達屋は信頼度が高いと言える。

ノッダ（地名）

シルフィード大陸の北部に位置する古都

遷都が行われるいわゆる五都で、近々遷都が行われる次期首都である。

ノルン

エルデが使う木製の儀仗の名前

白・茶・黒の三色の木を撚り合わせて作ったもの。
それぞれの単色に変化する。

また、それぞれの色の杖に名がある。

黒：ウルド

茶：ベルザンデイ

白：スクルド

普段は指輪で、必要な時に名を呼ぶと一瞬で儀仗になる。

また離れていても呼べば一瞬で手元に帰ってくる。

重力系のルーンがかけられており、他人が持つと途方もなく重く感じる為、盗まれる心配はない。

指輪に戻す時のルーンは「ルヴ ノルン」（ルヴは戻れという意味の古代ディーネ語）

ノーム山脈（地名）

ファランドールの三大陸を貫く大山脈

特にサラマンダ大陸はノーム山脈の急峻な部分が走っている事により実質的に南北に二分されている。

ノーム大陸（地名）

ウンディーネ大陸とサラマンダ大陸を合わせたファランドール最大の大陸の旧名。

現在はサラマンダ大陸と言われている。

用語 八行

八行

ハイレーン

ルーナーのうち、治療・回復ルーンを専門とする者
ルーナーを参照

バックハウス朝シルフィード王国

史実には記されていないが、最後のシルフィード王国という説がある

発現

エレメンタルが本来の力に目覚める事を発現と呼ぶ。

はんぼん
半本

精霊履行文、すなわちルーン書

契約文もしくは認証文のみを記載した通常の本の事。

両方記載されているものを完本と呼ぶ為、それに対しての呼び方
すなわち完本を語る際に使われる言葉であり、単独で使われるこ
とはあまりない。

なぜならルーン書はほとんどが半本であるからである。

「写し」と呼ぶこともある。

バード

国家所属の高位ルーナーの事

元々はルーナーを囲い込む為に成立した組織だが、重要な王宮防
衛の役を担う

シルフィード王国では軍の地位はなく、完全に独立した組織であ

る。

対してドライアド王国のバードは便宜上軍での地位も持つ。

サラマンダでは王国滅亡の際にバード組織は解散しており、ウン
デイーネの首都島アダンにはバードと呼ばれる役職はない。

一人の子

始祖ドライアドの長子

母であるドライアドに「四方の番」を命じられたというが、それ
以外の事は一切不明。名前も伝えられていない。

神名の欠落 を参照

ファランドール国際法

主要国すべてが批准している共通法

賢者法はファランドール国際法の一部

ファランドール・フォウ

フォウを参照

ファルコ

サラマンダ侯国西部にある港町

各国の領事館があり、サラマンダにおける西海岸の窓口と言っべ
き大きな町である

ファルンガ（地名）

シルフィード王国北部に位置するユグセル公爵家の領地

首府はユーゲン

ファルンガ義勇軍

「月の大戦」後半に活躍した軍隊の名称。ファルンガとの関係や正
体は謎であるが、自らをそう呼んでいたとされる。

ファルンガ州立博物館

「月の大戦」後に設立されたもの

ファルンガの首府ユーゲンにある

ワールド文書 などが所蔵されていることで有名

フェアリー

ファランドールの大気中に存在すると言われる四種類の精霊波（
「エーテル」のそれぞれ一つの力を生まれながらにして持っている
異能者

必ず単一の精霊波の能力のみを有し、二種類の精霊波の力を持つ
ものはいない

炎のフェアリー、風のフェアリーなどと呼ぶ。

また、フェアリーはルーナーにはなれない

人種によりフェアリーの出現率が大きく違い、アルヴ族に多く、
デユナン系には少ない。

フォウ

正しくはファランドール・フォウ

もう一つのファランドール、偽物のファランドールという意味を
持つ。

ファランドールから見た異世界の事。

この物語では主にエイルのふるさとである地球を指す。

附名

別名「死後の名」

主にツウレフ地方の風習で、死後の世界で魂が正しく黄泉路へ迎
えるよう、門番に告げる名前。

生前使用しない名前なので、その名前に罪の履歴が残らず、地獄
に落ちずにすむという言い伝えがある。

母親が命名し、通常は生前には名乗らない。

アキラ・アモウル・エウテルペのアモウルや、イース・バックハウスのイースなどは附名であるとされる。

非エーテル域

ピクシィ

フアランドールの人類の一つ。

アルヴィンノダーク・アルヴよりは大柄で、デユナンよりはやや小柄。

黒髪と黒い眼を持つことから、瞳髪黒色とも呼ばれる

星歴1200年頃にアルヴ族に絶滅された事になっているが、隔世遺伝などで瞳髪黒色の容貌の者はいる。

秘呪

禁忌とされている呪法のこと

あるいは門外不出の呪法のこと

百の戦術より一つの戦略（格言）

アプリリアージェが語ったとされる

「たとえ百の優れた戦術があろうと、たった一つの間違いのない戦略の前には為す術はない」

が略されたもの

平文

現代語で詠唱されるルーンの事

通常、グラムコールと呼ばれる様々な文法に則った「言語」で詠唱されるルーンだが、それを現代語に訳したもの。

ほとんどの場合、詠唱が長くなりすぎるので実用的ではないが、

聴衆に聞かせる為の目的、つまり多くは儀式などで使われる。

ヘカテラーグエ通り

シルフィードの首都 エッダの大通りの名称。

王宮前 中央広場に続く四本の大通りの一つ

ペダン

どのグラムコールにも属さない独自のルーンをペダンと呼ぶことがある。

いわゆるルート系列の通常グラムコールと違い、完成された文法体系を持たず、単純にいくつか特定のルーンの省略を目的にしたもので、多くのルーンを使えない為、低位ルーナーに対する蔑称として用いられる事も多い。

古代ディーネ語で「異端」という意味を持つ

宝鍵

別名：龍珠、マーリンの標しるし

世界に四つあると言われる正三角柱のスフィア

龍の心臓とも言われ、エレメンタルが使う事により、それぞれ対になる龍を呼び出す力を持つと言われるが、詳細は不明。

エルデが欠片を集めて一つの宝鍵を完成させようとしている。

星を呑む獅子

サミュエルの儀仗の頭頂部にある呪具の名前

また、儀仗そのものの名前でもある

用語 マ行

マ行

魔人

エイル・エイミイがそう呼ばれていたという説がある。

マリート

薬用になる一年草

独特の匂いを持つ小さな黄色い花を咲かせる。

花の薬を乾燥させると、疲労回復成分が生じることで知られる。

マーナート

ネズミの仲間

成獣は大人のデユナンの拳大ほどの大きさ

短毛だが肌触りの良い毛並みが珍重され、乱獲されて絶滅寸前と
言われる。

ウンディーネでは「丸ネズミ」とも呼ばれる。

マーリン新教会

教祖：クリングラ

正式名称 クリングラ派マーリン教

代表 堂頭

マーリン教の組織が形式化・巨大化する中で一部の勢力（賢者の選に漏れた不満分子と言われている）が離反。星歴三千五百年頃に分裂・発足 新たに本山をヴェリーユに置き、クリングラ派マーリン教と名乗る。

マーリン正教会と勢力を二分する大宗教である。

教義は正教会と比べると自由奔放で間口が広い。

各地の伝承などにある英雄や神格化された土着精霊の概念なども精霊の化身とし、信仰対象に加えるなど正教では異端とされるアニミズム的な考えを取り込んだ親しみやすさが特徴と言える。

組織には「賢者」職はなく、「大神官（後に堂頭と呼ばれる）」の直下に「神官」が来る形となっている。

「僧兵」を持たない正教会に対して新教会は訓練された僧兵からなる軍隊のような組織を有し、僧正と呼ばれる高位ルーナーが指揮を執る。

新教、あるいは新教会とも呼ばれる。

クレスト 昼星紋

> i38226 — 1831 <

マーリン正教会

教祖：ミト・ツープ

フアランドール最大の宗教

秘密主義に徹していて、教会深部の事は謎であり、表の組織とは別に非公式の「賢者会」という組織があるとされる。

賢者会の頂点は大賢者と呼ばれる四人の賢者。

ただし、その上に三聖と呼ばれる存在があるとされている。

基本的にはマーリンを唯一神とする厳しい戒律に則った厳格な宗教であるが、帰依を絶対としないなど、他の宗教や政治との折り合いを付けやすい隙を持つなど、したたかな面が垣間見える。

通常は正教会と呼ばれる。

クレスト 剣と薔薇と儀仗と蛇

> i38230 — 1831 <

マーリン正教会館

国立博物館を形成する建物の一つ。

文字通りマーリン正教会に関する文物を収蔵する。

絵画も多く、三聖《蒼穹の台》ことイオス・オシユティーフエの生前の唯一の肖像画と言われるミリア・ペトルウシユカの筆による「空の王」が収蔵されていることでも有名である。

空の王を参照

マーリンの座

かつてマーリンが存在し、ファランドールが始まった場所とされる。

場所は諸説あり、定まってはいない。

最も有力なものは、マーリン正教会の本山、ヴェリタスの奥地とされる

マーリンの徴しるし

賢者が持っている第三の眼の別称

または賢者の持つ儀仗にはめ込んでいるスフィアの事。
賢者毎に固有の力が封じられている。

マーリンの導うしな

宝鍵ほうけんの別名

マーリンの眼

賢者の額に表れる第三の眼
通常、真つ赤である

マーリンの徴とも呼ばれる

ミヤマシメジ

サラマンダ山間部に自生する食用キノコ

美味だとされるが、養殖ができず、幻のキノコと言われる。

ミュインモス

妖剣

ジャミールの刀工、セロドニが鍛えた

ゼプスと対で力を発揮する

ミュインモスは古代ディーネ語で「希望」という意味。

ミュゼ（地名）

ドライアド王国の首都

ドライアド大陸中央・西部に位置する

ミリア美術館

「月の大戦」後に設立

エスタリアの首府ソリユートにある、ミリア・ペトルウシユカの
絵画を多数収蔵した州立美術館

メツダ（地名）

シルフィード大陸中央部に位置する古都。

かつて首都であった。

遷都が行われるいわゆる五都の一つ

中央にそびえる大鐘楼がメツダの象徴とされる。

なお、ファルケンハインとティアナは共にメツダ出身である。

メリル海域

シルフィード大陸南端からファランドールの南極にかけての海。

小さな島が多く、人は住んでいない。

モロウ（地名）

サラマンダ西部の最北にあるウンディーネとの交易の拠点となる

港湾都市

用語 ヤ行

ヤ行

八重山百合の髪飾り

ルルデ・フィリスティアードがプロポーズの際、シェリル・ダゲツトに贈った髪飾りの事。

シェリルにとって、ルルデの形見。

やさしく基礎から学べるルーナー入門

架空の入門書

エルデが適当に言ったもの

猶予ある死の宣告

呪法の種類

これが施されると、どんなに距離が離れていても術者があらかじめ定めた言葉を告げたとたん、死に至る。

ユラト

グラムコール

ルートの一つ

ユリスカラント通り

シルフィード王国 首都エツダにある大通りの名
王宮前にある中央広場からまっすぐ南に続く。

有史以前にエツダ地方を納めていた領主の族名から名付けられた。

ユーゲン

シルフィード北部のファルンガ地方の首府

四人組

ジャミールの族長を補佐する女官

族長と次期族長を除き、通常、里で最も力のある四人の成人女性がその任に就く。

一族で最も権威のある役職と言える。

四始祖

有史以前、同じ時代に存在したという四人の英雄の総称。

四始祖は大いなる災いから人々を守り、混乱下にあったファランドールに、それぞれが四つの国を作ったという国作り伝説がある。

五万年年から六万年年前に、現在の四大国の基礎を作ったとされる。

最初のエレメンタルでもある。

四始祖の名は

・ドライアド

・サラマ ندا

・シルフィード

・ウンディーネ

四連白野薔薇

ドライアド王国 ペトルウシユカ侯爵家のクレスト

用語 ラ行 ワ行

ラ行

雷帝（絵画）

「月の大戦」後に国宝に指定された、ミリア・ペトルウシユカの手になる絵画の題名

雷を操る風のフェアリー、アプリリアージェエを描いたものと言われる。

画家アニメ・フェルシスの代表作「金のオーヴのダーク・アルヴ」はこの作品に対する献辞を込めたものとされる。

雷鳴の回廊

シルフィード大陸北部にある海峡の名称

海流が速いだけでなく、気流の関係で天候が荒れている事が多く、晴天率が異様に低い。

当然ながら遭難事後が多いが、航海の日程短縮の為に敢えて通る船は跡を絶たない。

ルキリアはここで遭難、全員死亡したと、シルフィード王国が公式発表した事でも知られている。

ランダール（地名）

サラマンダ侯国中央部のランダール高地にある城塞都市

大粒のサクランボの産地として名高い。

ブドウ畑も多く、ワインも有名。

基本的には複数の街道の交差する場所にあるところから、交易都市である。

付近のワインの集積地でもある。

リバウンド

ルーンの詠唱が途中で止まった場合など、履行の失敗をすると、行き場を失ったルーンはすべて履行者に対するダメージとして降りかかる。

ダメージはルーンの強さに比例する。

龍珠

ほうけん

宝鍵の別名

龍の檻

出口のない、閉鎖された龍の道のような場所

龍の道を参照

龍の道

ファランドールとは空間的に乖離したところにある通路。

両者を繋ぐ接点は世界中に散らばっているという説がある。

いくつかある「時のゆりかご」にも繋がっているとされる

視覚的には岩盤をくりぬいた長い洞窟のようなものだとされている。

龍墓

エレメンタルが宝鍵により目覚めさせるまで、龍が眠っていると
言われている。

エレメンタル同様に四ヶ所存在すると言われる

「時のゆりかご」を参照

リリア

「月の大戦」以降、エスタリア地方で販売されている高級ブレンド

紅茶の名前。

紅茶好きの歴史的人物、アプリリアージェの名が由来

リリエデール

古代ディーネ語

八重山百合の事

フォウではカンゾウにあたる植物

カンゾウの花言葉は「悲しみを忘れる」

ルヴラ

キョウチクトウの一種

クラルヴァイン男爵のクレスト

ルキリア

シルフィードの秘密部隊

司令官 アプリリアージェ・ユグセル中将

便宜上海軍所属となっているが、国王直轄の部隊である。

同じシルフィード軍の内部でも「卑怯な殺人部隊」と忌み嫌われている。

ルート

最古のルーン文法 グラムコル

全部で三種類 キュア・ユラト・クラン

現存する文法のほとんどがルートの亜流だと言われている

ルーナー

ルーンを操る術者の名称

四種類の精霊波 エーテルを使いこなせる能力が要求される。

会得は相当に困難であると言われ、高位のルーンを使えるルーナーはほとんど減っている。

修行さえすれば誰でもルーナーになれるわけではなく、基本的な才能が必要とされる。

人種によっても向き・不向きがあり、デュナンや絶滅したピクシイの方がアルヴ系人種よりも複数の精霊波と交信しやすく、ルーナー向きとされる。

また、フェアリーはルーナーになれない。

ルーナーはその得意分野によって大きく三つに分けられて呼称される

- ・エクセラ―：攻撃専門のルーナー
強さが求められるが、単一属性で使えるため、もつとも多い
- ・コンサーラ：強化専門のルーナー
複数の精霊波を精密に制御する起用さが求められる為、数が少ない
- ・ハイレーン：治癒専門のルーナー
四種類の精霊波全部を完璧に制御できる力が求められる為、難易度が高い。従って低位の治癒ルーンしか使えない者ばかりで、ハイレーンはルーナーの落ちこぼれがたどる道だと言われている

全ての属性のエーテルを操る事ができる為、「全のフェアリー」と呼ばれる事もある。

ルーナー

精霊履行とも呼ばれる

記述したものを精霊履行文と言う

精霊波を力に変えるための「言葉」
エーテル

ルーナーの履行には厳格な決まり事がある。

精霊履行文、すなわちルーナーは大きく分けて三つの部分から成っている。

すなわち、以下の三つである。

1) 前文

名前を告げ、正統なエーテルの使い手である事を（エーテルに
対して）呼びかける為のものとされる

2) 契約文

エーテルにどのような力を使うのかを告げる

3) 認証文

これだけは言葉の意味がわからないので、平文に訳す事は出来
ないとされる。

言い換えるならば、意味がわかるものには新しいルーンがいく
らでも生み出せるという事である

グラムコールを使用せず、平文で詠唱された初歩のルーンを例と
して挙げる

【前文】

我が名はエイル・エイミイ。ファランドールの大地にウンディー
ネの加護を受け生を得し者なり。我は精霊の主にして僕しもへ、家族にし
て友、父にして子でありそれら永遠に続く絆を尊ぶ者なり。我は創
造者マーリンの名の下で古の契約を受け継ぐ権利を有し……今まさ
に一つの力を欲する。汝らは疾とく我が呼びかけに答えよ。

【契約文】

ここに詠じるはマーリンの子サラマンダの名において古に契約さ
れし一つの約定なり。父サラマンダが答えぬ今、子であり孫であり
サラマンダ自身である汝らこそが義務を正しく履行せよ。我が手に
その力を。生きとし生けるものすべてを空に帰す大いなる炎を今ま
さに我に与えよ。

【認証文】

フレイル

地球での魔法に似ているが、制約が多く、魔法ほどの自由奔放な力とは少々違う。

1) 詠唱終了まで空間座標軸を固定しなければならぬ

要するに、ルーンを唱え終わるまでは一切動けない(移動している飛行機や船や潜水艦では使えない)

2) 詠唱を始めたなら、最後まで詠唱を止めてはならない

どちらでも失敗した場合、術の逆流現象が起こり、ルーナー自身がダメージを受ける。

1) の場合は最初から動いていると詠唱そのものが無効。途中で動く逆流現象が起こる。2) の場合、前文の途中であれば問題ない。

一般のルーンとは違い、古代ルーンと呼ばれる禁忌とされる強力なルーンもある。

以下、代表的なルーンを列挙(本編の初出順。括弧内はグラムコール。グラムコール名がないものはエルデのオリジナル)

・サステアナダイグズ(デルワ)

単体の目標

空間固定と麻痺を組み合わせた中位の複合ルーン

・ヴェルダーリヤ ひじかたまり クドフェルカスタ リス
単体の目標

空気中の水分を抽出して水球に変え、かつその重力を無くすと同時に、表面張力を極限まで高める極めて複雑な高位の複合ルーン。

見た目としては、空中に大きな水球が浮かぶ状態になる。

エルデの創作ルーンで、グラムコールは特に存在しない。

・グラヴン（キュア）

単体の目標

数倍の重力を加えるルーン

・スプマイロ（ザルカ）

効果は範囲

高位の迷彩ルーン。

姿を消す事ができる。

時限ルーンで、効果時間はルーナーの力に左右される。

・フレイル（テレビエ）

単体の目標

ごく初歩的な低位の炎属性の攻撃ルーン

・死の宣告

単体の目標

猶予ある死の宣告に似ているが、こちらはルーン。

これが施されると、どんなに距離が離れていても術者があらかじめ定めた言葉を告げたとたん、死に至る点は同様。

ルーンの場合は術者が死ぬと被術者も死んでしまう。

なお、死の宣告はいわゆる認証文ではなく通称。認証文は不明である。

・ウィール・デルダモデグ・ワウド

単体の目標

劇的に体調を回復させる

ただし、副作用が強く、ルーンが切れると急激な疲労に見舞われる。

アプリリアージェエに対してエルデは呪法だと説明したが、ルーンである。

・エスリ・フィーテ・レーテ・アナパウソ
単体の目標

単純な外傷を急速修復する高位の治癒ルーン
即効性の為、ルーナーの負担がかなり大きい。
最もこのルーンを使えるハイレーンはほとんどいない。

・ケスレイ（ザルカ）
単体の目標

水属性の攻撃ルーン
相手を一瞬で細胞まで凍らせる事ができる中位ルーン
ただし、質量が大きなものに対しての効果はほとんど無く、脅し
に使う程度であつただらうと言われている。

・ドラク・エフィール（ニエクス）
単体の目標

炎属性の攻撃ルーン
相手を一瞬で高温にし、焼き尽くす中位ルーン
こちらも質量が小さいものにはしか効果が無い

・パラス（クラン）
単体の目標

地属性の強化ルーン
相手の空間軸を固定するルーン。

・ファルデルエ・スレア・デュナミス（ダーヴァ）
単体の目標

眠りから覚めて最初に目にした異性を深く好きになる禁忌のルーン
時限がなく、相手が求めに応じることによって強固に感情が固定される
事から、覚めることのないほれ薬という別名がある。

・エリクダート・キシエル（クチュリエ）
単体の目標

相手を冬眠状態にする強化ルーン

・ファードユ・アーデ

単体の目標

副作用の無い覚醒ルーン

・ギガストローマ（クラン）

範囲

精霊波攻撃を一定時間防ぐ高位の強化ルーン

・ファルモニアード・デルエージュ・アーシャス

自らの体を付近にある精霊波の力を吸い寄せ精霊陣とする強化ルーン。

雷に対する避雷針のような効果を自らの体に持たせる強化ルーン
エルデのオリジナル

・フェルヒメル

精霊陣を一瞬で無効化する強化ルーン。

一種の避雷針のようなもので、精霊陣が持つエーテル（精霊波）をそれぞれ逆属性（炎＞水、風＞地、またはその逆）に変換して無効化する。

エルデは古代ルーンの逆行現象を「フェルモニアード・デルエージュ・アーシャス」を使って自らの体に集め、自分の体に着弾する瞬間を狙ってこのルーンを使った。このルーンの発動はまさに一瞬だけなので、タイミングを誤ると惨事になっていた。

エルデのオリジナル

・ヴォリトス・エル・デア・キキルナ・セロ（キュア）
ジャミールに伝わる秘宝。

古代ルーンの認証文。

族長が代々口伝で伝えており、文字には成っていない。

火山の噴火を抑制するルーンだと伝えられているが、実際は巨大な熱量を別のものに変換し、冷却するルーン。

しかも、一定以上の熱量を持つ者にしか反応しない為、使い途はごく限られる。

・ウエルカ（ザルカ）

単体の目標

ごく短時間、熱の影響を受けない

・エリフ（ユラト）

単体の目標

一瞬で高温にして、発火させるルーン

・シエル・エリユネ・ナダ・リユーン

空気中の水分を固形化、つまり小さな粒にまとめるルーン
エルデのオリジナル

・ラント・フルエ・マリミュール（ユラト）

範囲

質量の小さなものを空間固定するルーン
術者の能力に依って固定時間は変化する

ルーンサークル

精霊陣を参照

ルーンストーン
精霊石を参照

レイジノ山

サラマンダ大陸のノーム山脈東部にある活火山

この山の麓に、かつてジャミールの隠れ里があったとされる

レナンス

ツウレフ島の首府レナンは古くから腕の立つ剣士を輩出すること
で知られており、レナン出身の剣士を、畏怖を込めてレナンスと呼
ぶ。

ワ行

ワデユカ湾

サラマンダ北西部にある小さな湾

氷河跡で断崖が続く地形の為、付近に集落はない。

ワルド文書

アプリリアージェの留守番役であったマキーナ・ワルド子爵の日記
ジャミール族やアプリリアージェ・ユグセルについての既述が多
く、歴史的な資料として名高い

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1139ba/>

合わせ月の夜 副読本（第一部用 イラスト付）

2012年1月3日01時47分発行